



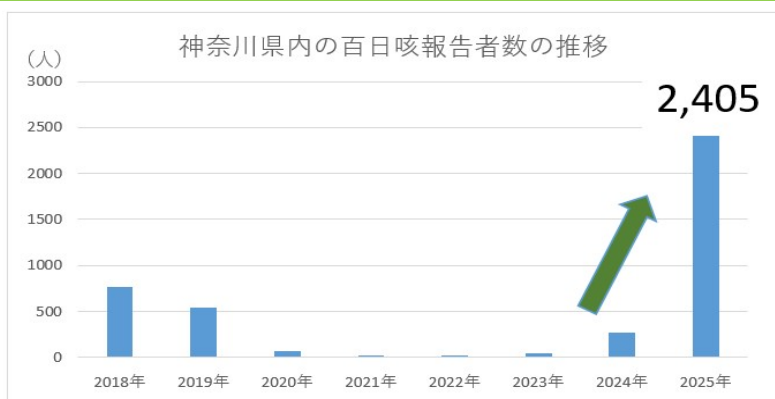
百日咳に気を付けましょう

～神奈川県が発生状況～



百日咳は主に百日咳菌という細菌が原因の感染症です。長い間激しい咳が続くのが主な症状です。学校や幼稚園・保育所での集団感染や、地域において流行が発生することがあります。

神奈川県内における百日咳の報告数

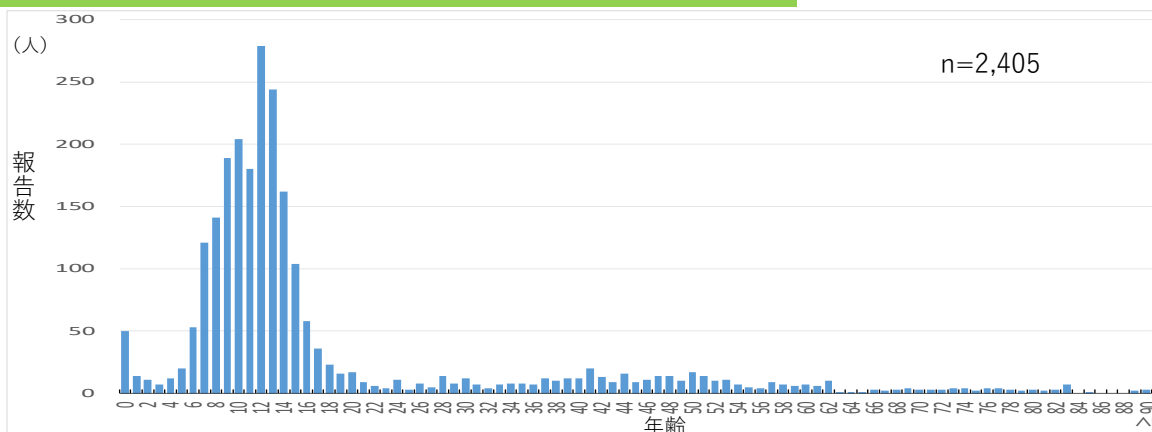


百日咳は2018年から感染症法に基づく5類感染症全数把握対象疾患となっています。国内で新型コロナウイルス感染症の流行がはじまった2020年から2023年の年間の報告者数は非常に少なくなっていました。しかし2024年は2023年に比べ著明な報告者数増加を認め、**2025年は8月3日報告分までで既に2,405人と、全数把握対象となって以来、最多の報告数**となっています。

神奈川県衛生研究所HP
疾患別情報「百日咳」



年齢群別報告数の状況



2025年1週～31週
まで(～8月3日)は、
7歳から14歳を中心
に報告されています。



百日咳とは

【原因】 百日咳菌 (*Bordetella pertussis*)
(一部、パラ百日咳菌 (*Bordetella parapertussis*))

【感染経路】 飛沫感染・接触感染

【潜伏期間】 約7～10日間

【症状】 かぜ様症状ではじまり、次第に咳が強くなる。
特徴的な咳が出る。

【治療】 抗菌薬が有効(マクロライド系)
(近年、耐性菌が増加している。)

【予防】 定期予防接種(五種混合ワクチン)
(生後2か月から接種可能)

百日咳になったら・・・

- 百日咳は学校保健安全法で第2種学校感染症に指定されています。
- 百日咳と診断されたら「**特有の咳が消失するまで**」または「**5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで**」は**出席停止**となります。
- 乳児、特に**生後6か月以内**は重症化しやすく死亡することもあるので注意が必要です。
(咳が出る大人や年長児は咳エチケットを忘れずに0歳の赤ちゃんとの接触を避けることが望めます。)
- ※特有の咳とは・スタカートと呼ばれる断続的な咳と、咳の後に息を吸い込むのでヒューという笛を吹くような音(ウープ)が続くこと。

神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

(令和7年8月作成)